

全国の蔦屋書店で啓発活動「一生、愛（EYE）読家。」を展開

10月27日～11月9日の読書週間店頭スペースで「文豪の名言」オリジナルしおりを配布
11月5日（日）に 六本木 蔦屋書店にて菊川怜さんとふかわりょうさんをゲストにトークイベントを開催

健やかでクリアな視界で、人々のクオリティ・オブ・ビジョン（QOV）の向上を目指すジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 ビジョンケアカンパニー（本社：東京都千代田区 代表取締役プレジデント：森村 純）は10月27日（金）～11月9日（木）の読書週間に合わせて、カルチャー・コンビニエンス・クラブ株式会社（本社：東京都渋谷区）が運営するライフスタイル提案型の書店「蔦屋書店」(<https://store.tsite.jp/>)にて、ジョンソン・エンド・ジョンソンの啓発活動「一生、愛（EYE）読家。」を展開いたします。

【「一生、愛（EYE）読家。」啓発活動 実施概要】

じょうずに付き合うエイジングアイ

- テーマ：「一生、愛（EYE）読家。」
- 期間：2023年10月27日（金）～11月9日（木）
- 場所：全国の蔦屋書店 21店舗
- 内容：
 - ① 「コンシェルジュ文庫」フェア内にて目の健康に関する啓発活動「一生、愛（EYE）読家。」を展開
 - ② 「文豪の名言」オリジナルしおりの配布
 - ③ 11月5日（日）六本木 蔦屋書店 SHARE LOUNGEにて「これから先もずっと本を読み続けるために」をテーマとしたトークイベント（ゲスト：菊川怜さん、ふかわりょうさん、MC：青木源太さん）を開催

一生、愛（EYE）読家。

① 「コンシェルジュ文庫」フェア内にて目の健康に関する啓発活動「一生、愛（EYE）読家。」を展開

蔦屋書店では毎年、コンシェルジュたちが選び抜いた文庫本を展開する「コンシェルジュ文庫」を全国で実施しています。今年のテーマは「一生ものの、愛読書」。当社は、「読書」が「エイジングアイ（目の加齢）」に関心を持つきっかけになると考え、より多くの方に、「よく見える」ということをあらためて自分ごととして意識し、目の健康や眼科受診の重要性を理解いただくための啓発活動「一生、愛（EYE）読家。」を展開いたします。「コンシェルジュ文庫」フェア内にて、パネルやオリジナルのしおり等を通じてメッセージを発信します。

「コンシェルジュ文庫」特設サイト：<https://store.tsite.jp/portal/event/humanities/36310-1024391005.html>

② 「文豪の名言」オリジナルしおりを配布

「一生、愛（EYE）読家。」の活動の一環として、蔦屋書店の「コンシェルジュ文庫」フェア内にて「文豪の名言」オリジナルしおりを配布します（全8種、なくなり次第終了）。しおりの表面には、文豪の“名言”と、それになぞらえたエイジングアイ経験者にありがちな“迷言”を掲載しています。



③ 11月5日（日）六本木 蔦屋書店にて菊川怜さんとふかわりょうさんを招いた「読書」に関するトークイベントを開催

「これから先もずっと本を読み続けるために」をテーマとしたトークイベントを、蔦屋書店と共催いたします。イベントには菊川怜さんとふかわりょうさんをゲストに、MCに青木源太さんを迎え、普段の読書習慣や愛読書、さらには読書を通じて気付いた目の健康の大切さについてお話しいたします。こちらのイベントには抽選で50名の方にご参加いただけます（参加費無料）。イベントの詳細はこちらをご覧ください。



<https://store.tsite.jp/ropongi/event/humanities/36451-1345171011.html>

また、イベント参加を希望される方はこちらからご応募ください。

<https://eventmanager-plus.jp/get/96e846a62f6f2875f6e8251e5d86416d099604819aab234a4a2af7ddc9b607c0>

日本眼科啓発会議が 2021 年に行った目の健康に関する意識調査では、「目について気になっていること」として「小さな文字が読みにくい」という回答が最も多いという結果が出ています*1。当社は、トータルアイヘルスのリーダーとして、エイジングアイを理由に読書習慣を絶やすことがない未来に向け、目の健康の重要性を訴求するとともに読書を愛する「愛読家」をサポートしていきます。

*1 日本眼科啓発会議 アイフレイル啓発公式サイト

https://www.eye-frail.jp/wp-content/themes/theme_eyefrail/download/eyefrail_research_202106.pdf

日常生活において、人は五感から多くの情報を得ており、視覚から得られる情報量は全体の 8 割以上を占めるといわれています*2。ジョンソン・エンド・ジョンソン ビジョンは、「よく見える」状態を可能な限り長く保つ、つまり目の健康寿命を延伸することがクオリティ・オブ・ライフ（QOL）の維持向上につながると考え、国際失明予防協会（IAPB）とパートナーシップを本年 9 月に締結、また同協会が展開する World Sight Day（世界視力デー：本年は 10 月 12 日）にパートナー企業として参加とするなど、目の健康に関して積極的に訴求啓発を行っています。

*2 日本眼科学会公式サイト

<https://www.nichigan.or.jp/intern/summary/feature/importance.html>

〈参考情報〉

ジョンソン・エンド・ジョンソンの公式サイトにて、老視や白内障に関するストーリーを発信しています。

- 人生 100 年時代、老眼とどう向き合う？

<https://www.jnj.co.jp/story-well-being/presbyopia-100-years-life-early-check-up>

- 白内障は早期受診が大切

<https://www.jnj.co.jp/story-well-being/cataracts-about-early-diagnosis-important>

* * *

【ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 ビジョンケア カンパニーについて】

ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 ビジョンケア カンパニーは、1991年に世界初の使い捨てコンタクトレンズ「アキュビュー®」を日本に導入して以来、常に使い捨てコンタクトレンズ市場をリードし続けてきました。

人生 100 年時代と言われる今、トータルアイヘルスのリーディングカンパニーとして目の健康寿命の延伸に貢献することをビジョンに掲げています。

人々が健康でクリアな「見る力」（Vision）を毎日保つことが、私たちのビジョンの実現につながるという思いを込めた“Vision Made Possible.”のメッセージの下、人々のクオリティ・オブ・ビジョン（QOV）の向上を目指し、あらゆる世代の人が素晴らしい人生を送る「未来」の実現に貢献します。